

科目名 (科目番号)		生体機能代行装置学基礎実習 (時間割参照)	教員名	医療技術学科教員 佐藤 宜伯 富銘 良也	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要		生体機能代行装置には概論で学んだ種々の代行装置があるが、ここでは代行装置の基礎実習として、血液浄化分野より透析装置、呼吸療法分野より人工呼吸器、循環器治療分野より人工心肺装置を主に取り扱い、各装置の組み立てやプライミング、基本的操作に関する実習を行う。また、実習後半には解剖学、生理学に関する実習を行う。							
目的・目標		目的:透析装置、人工呼吸器、人工心肺装置の回路構成を理解し、組み立て(プライミング)、基本操作の方法について学習する。 目標:透析装置、人工呼吸器、人工心肺装置の回路構成を理解し、組み立て(プライミング)、基本操作ができる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	実習ガイダンス		到達目標:生体機能代行装置学基礎実習における留意事項やレポートの書き方を理解する。 学習内容:生体機能代行装置学基礎実習における留意事項やレポートの書き方について学ぶ。					
	2	透析装置(Ⅰ)		到達目標:血液回路、ダイアライザーの取り付け、液置換、エアー除去など一連のプライミング技術を習得する。 学習内容:血液回路、ダイアライザーの取り付け、液置換、エアー除去など一連のプライミング技術について学ぶ。					
	3	透析装置(Ⅱ)		到達目標:透析治療中に生じるトラブルとその対処、対策の手技を習得する。 学習内容:透析治療中に生じるトラブルとその対処、対策について学ぶ。					
	4	人工呼吸器(Ⅰ)		到達目標:人工呼吸器回路の組立や基本操作の手技を習得する。 学習内容:人工呼吸器回路の組立や基本操作について学ぶ。					
	5	人工呼吸器(Ⅱ)		到達目標:人工呼吸器使用中に生じるトラブルとその対処、対策の手技を習得する。 学習内容:人工呼吸器使用中に生じるトラブルとその対策について学ぶ。					
	6	人工心肺装置		到達目標:人工心肺装置の回路の構成や基本操作の手技を習得する。 学習内容:人工心肺装置の回路の構成や基本操作について学ぶ。					
	7	組織解剖学実習		到達目標:人体模型や組織標本を観察し、その構造や機能を理解する。 学習内容:人体模型や組織標本を観察し、その構造や機能について学ぶ。					
	8	臨床生理学実習		到達目標:生体計測装置を用いて、人体各器官の構造や機能を理解する。 学習内容:生体計測装置を用いて、人体各器官の構造や機能について学ぶ。					
成績評価の方法・基準		小テスト(15%)＋レポート(85%) (対面・オンライン共通)							
教科書		必要に応じて実習指導書を配布する。							
参考図書		臨床工学技士標準テキスト(第4版)			小野哲章			金原出版	
教員からのメッセージ		授業内容に変更がある場合は、変更のシラバスを周知いたします。							